⑹　重要データの漏えい防止対策	重要な設備情報（特に他社のセキュリティ情報等）の漏えいを防止するための適切な措置を講ずること。	◎	◎	○	○
7　環境管理					
⑴　建築物の保全	保全点検を定期的に行うこと。	◎	◎	◎	◎
⑵　空気調和設備の保全	保全点検を定期的に行うこと。	◎	◎	◎	◎
8　防犯管理					
⑴　体制の明確化	防犯体制を明確にすること。	◎	◎	◎	◎
⑵　管理の手順化	防犯管理の手順化を行うこと。	◎	◎	◎	◎
⑶　建築物、通信機械室等の入出管理	建築物、通信機械室等の入出管理を行うこと。	◎	◎	◎	◎
⑷　かぎ、暗証番号等の管理	出入口のかぎ及び暗証番号等の適切な管理を行うこと。	◎	◎	◎	◎
⑸　防犯装置の管理	防犯装置の保全点検を定期的に行うこと。	◎	◎	◎	◎
⑹　入出管理記録の保管	入出管理記録は、一定の期間保管すること。	○	○	○	○
9　非常事態への対応					
⑴　体制の明確化	ア　連絡体系、権限の範囲等の非常時の体制を明確にすること。	◎	◎	◎	◎
	イ　非常時における社員・職員、復旧に必要な業務委託先などへの連絡手段、社員・職員の参集手段の確保等の体制を整えること。	◎	◎	○	○
	ウ　非常時における広域応援体制を明確にすること。	○	○	○	○
	エ　相互接続を行う事業者等の間において、非常時の連絡体制や連絡内容を明確にすること。	◎	◎	○	○
	オ　非常時における応急活動、復旧活動に際しては、国等の関係機関との連絡体制を明確にすること。	◎	◎	○	○
	カ　非常時において、応急活動、復旧活動にかかわる連絡手段を確保するために必要な措置を講ずること。	◎	◎	○	○
	キ　非常時における対応体制の検証・見直しを必要に応じて行うこと。	◎	○	◎	○
⑵　復旧対策の手順化	復旧対策の手順化を行うこと。	◎	◎	◎	◎
10　教育・訓練					
⑴　体制の明確化	教育・訓練に関する計画の策定及び実施を行う体制を明確にすること。	◎	◎	◎＊	◎＊
⑵　教育・訓練の内容	ア　教育・訓練の目的を明確にするとともに、終了後の実施効果により計画の修正を行うこと。	◎	◎	◎＊	◎＊
	イ　情報通信ネットワークの円滑な運用に必要な知識及び判断能力を養うための教育・訓練を行うこと。	◎	◎	◎	◎＊
	ウ　データ投入等における信頼性の高い作業能力を養うための教育・訓練を行うこと。	◎	◎	◎	◎
	エ　設備の保全に関する知識を養うための教育・訓練を行うこと。	◎	◎	◎＊	◎＊
	オ　防災に関する教育・訓練を行うこと。	◎	◎	◎	◎
	カ　防犯に関する教育・訓練を行うこと。	◎	◎	◎	◎
	キ　情報セキュリティに関する教育・訓練を行うこと。	◎	◎	◎	◎
11　現状の調査・分析及び改善					
⑴　体制の明確化	情報通信ネットワークの維持及び運用に関して、現状の調査・分析を行う体制を明確にすること。	◎	◎	◎	◎
⑵　基準の設定	情報通信ネットワークの維持及び運用に関して、現状の調査・分析を行う項目、評価方法等の基準を設定すること。	◎	◎	◎	◎
⑶　作業の手順化	情報通信ネットワークの維持及び運用に関して、現状の調査・分析作業の手順化を行うこと。	◎	◎＊	◎＊	◎
⑷　改善	ア　情報通信ネットワークの維持及び運用に関して、現状の調査・分析結果を、必要に応じ、情報通信ネットワークの維持及び運用体制並びに手順書に反映させること。	◎	◎	◎	◎
	イ　情報通信ネットワークの維持及び運用に関して、現状の調査・分析結果を、必要に応じ、教育・訓練計画に反映させること。	◎	◎	◎＊	◎＊